



週間市場レポート (2018年2月5日～2月9日)

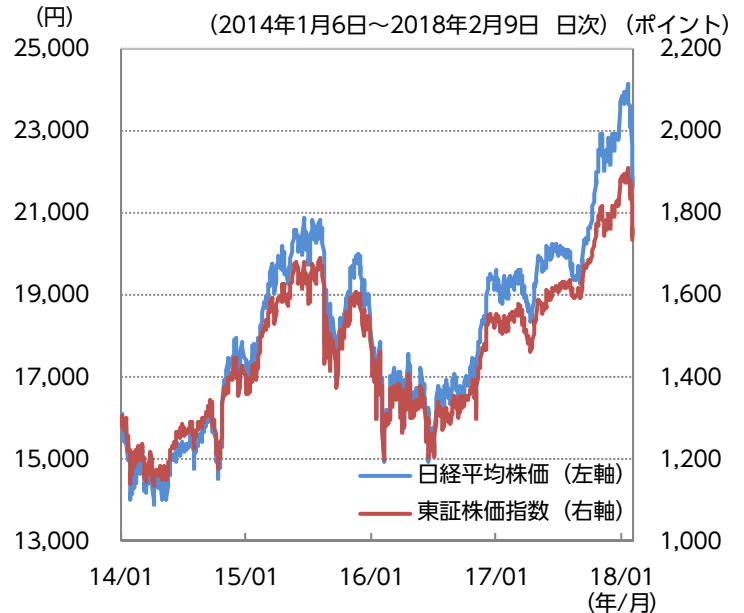
(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

■ 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で大幅に下落となりました。米株安や米金利の上昇により投資家のリスク選好姿勢が後退し、週初はおよそ1年3か月ぶりの下げ幅となり、翌日も下げ幅が拡大しました。米国株の下げ止まりを受け、週中に4営業日ぶりに反発する場面もあったものの、週末は、8日のダウ工業株30種平均が過去2番目の下げ幅を記録したのを受け大幅に下落しました。（週末引け値：21,382.62円）

■ 週間では、日経平均株価は8.13%の下落、東証株価指数7.09%の下落でした。

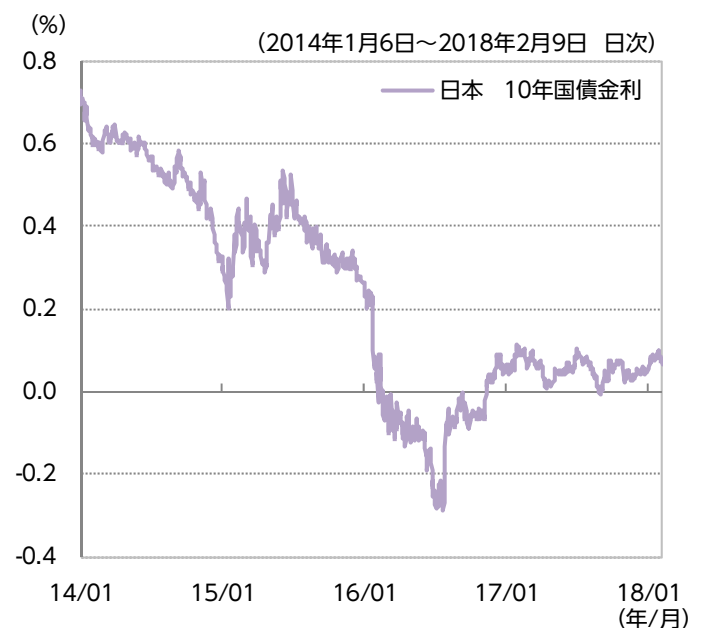
出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成



債券市場の動き

■ 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で下落となりました。週初は、米国金利が上昇する中、相対的に安定して推移しました。週後半は、世界的な株安によるリスク回避から、金利に低下圧力がかったものの、日銀が実施した国債買い入れオペ（公開市場操作）が下支えしました。（週末引け値：0.066%）

■ 週間では、0.020%の下落となりました。

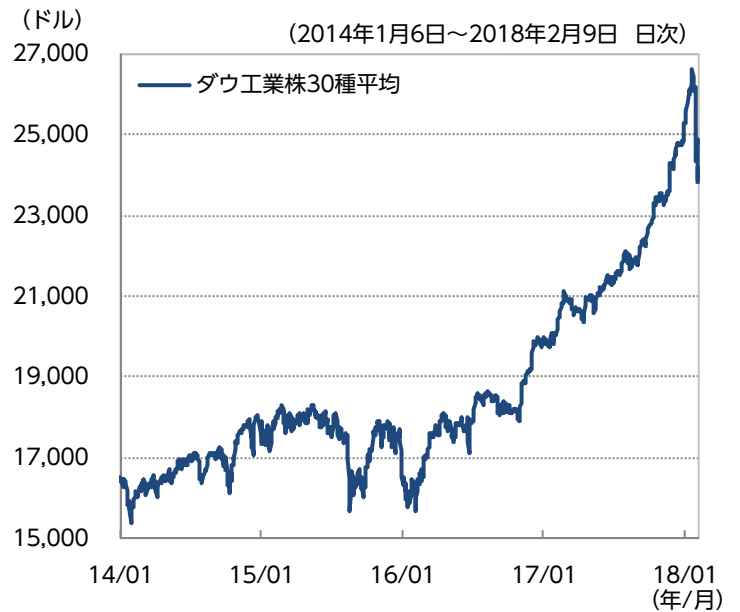


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で大幅に下落となりました。週初は大幅に下落し一時1,600ドル近く急落する場面もありました。その後は企業の好調な決算発表や軟調な米国債入札等を受けて、週末まで値動きの荒い展開となりました。（週末引け値：24,190.90ドル）
- 週間ではNYダウは5.21%の下落となりました。

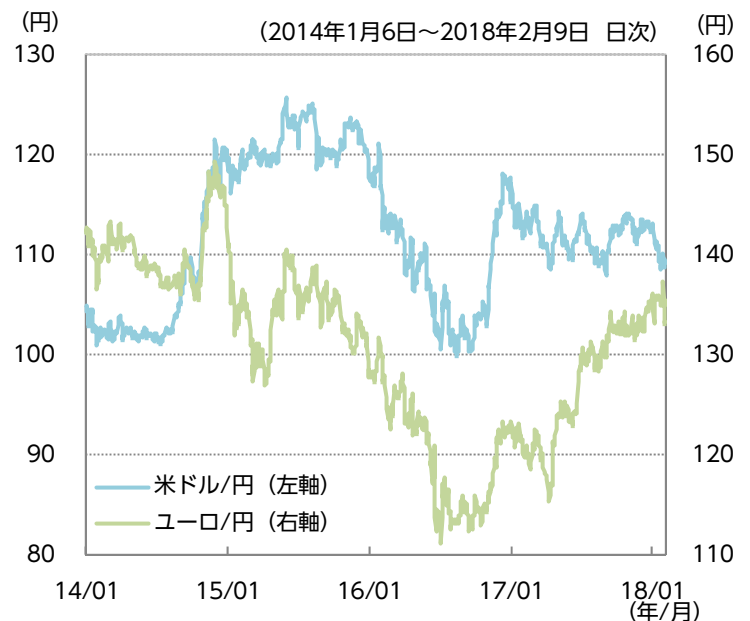


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。世界的な同時株安により投資家のリスク回避姿勢が強まり、週を通じて相対的に低リスクとされる円を買い、米ドルを売る動きが優勢となりました。（週末引け値：108円75銭～85銭）
- 週間では米ドル/円は1.24%の円高、ユーロ/円は2.88%の円高となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>